

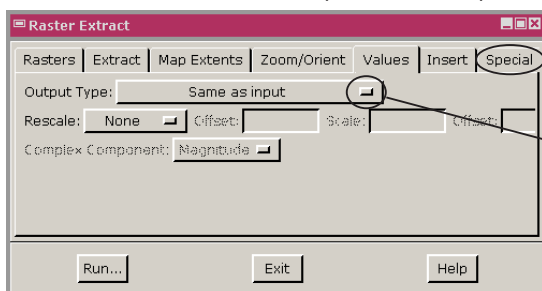
# ラスタのデータタイプの変換

ご存知でしたか?... TNTmips では、広い範囲のビット深度のラスタオブジェクトを扱うことができます。

## ラスタのデータタイプを変換することで...

- グレースケールやカラーコンポジットファイルのビット深度を変換できます。
- そのデータのビット深度の許容限度の全ての範囲でデータを処理できます。
- ファイルのビット深度に合う形式でファイルをインポートできます。
- バイナリ形式 (2 値)、符号付き整数や符号なし整数、浮動小数点や、複素数のラスタを処理できます。

### ①グレースケールラスタの場合 (4 ~ 128 ビット)

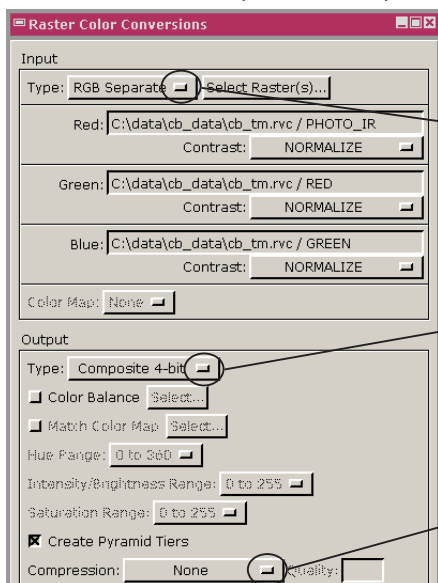


「ラスタの抜き出し (Raster Extract)」処理では、ランレングス・エンコードド (Run Length Encoded)、標準欠損なし (Standard Lossless)、ハフマン符号 (Huffman)、JPEG や JPEG2000 の各種等、様々な形式で出力ラスタを圧縮できます。

- |                         |                                 |
|-------------------------|---------------------------------|
| 4-bit integer           | 64-bit complex real/imaginary   |
| 8-bit unsigned integer  | 64-bit complex magnitude/phase  |
| 8-bit signed integer    | 128-bit complex real/imaginary  |
| 16-bit unsigned integer | 128-bit complex magnitude/phase |
| 16-bit signed integer   |                                 |
| 32-bit unsigned integer |                                 |
| 32-bit signed integer   |                                 |
| 32-bit floating-point   |                                 |
| 64-bit floating-point   |                                 |

複素ラスタは出力専用ですが、いくつかのデータタイプ・オプションがあります。

### ②カラーラスタの場合 (4 ~ 24 ビット)



入力ラスタのタイプは以下から選択できます: シングル (Single)、RGB セパレート (RGB Separate)、HIS、HBS、HSV (マンセル, Mansell)。

- |                  |
|------------------|
| Composite 4-bit  |
| Composite 8-bit  |
| Composite 16-bit |
| Composite 24-bit |

カラーコンポジットラスタの出力タイプのオプション

「ラスタのカラー変換 (Raster Color Conversion)」処理でも、出力ファイルを幾つかの形式で圧縮することができます (標準欠損なし、ハフマン符号、JPEG の各種)。

## ラスタのデータタイプを変換する方法

- グレースケールのオブジェクトの場合は [ラスタ / 抜き出し (Raster/Extract)] を選択します。
  - ・ ラスタを選択すると <ラスタの抜き出し (Raster Extract)> ウィンドウが開きます。
  - ・ [値 (Value)] パネルの [出力の種類 (Output Type)] メニューから目的のビット深度を選択します。
- カラーのオブジェクトの場合は [ラスタ / 組み合わせ / 色の変換 (Raster/Combine/Convert Color)] を選択します。
  - ・ 入力タイプを設定してラスタを選びます。
  - ・ [Output (出力)] メニューから出力ラスタのデータタイプを選択します。

## さらに知りたいことがあれば...

以下のチュートリアルをご覧ください  
TNT 製品の技術的な特徴  
(Technical Characteristics)

